

民報

あばしり

NO.1016

2015・4・19

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三、四四五八
F 四三、四四五七

党史上初!

全都道府県議会に議席



札幌市東区
宮川じゅん



札幌市北区
佐野ひろみ



小樽市
菊地よう子



旭川市
真下紀子

当選を果たした道議の4氏

31議席増の1111議席 北海道も1から4へ

いっせい地方選挙前半戦で、日本共産党は党史上初めて「県議空白ゼロ」を達成する画期的躍進を果たしました。2011年の前回選挙を31議席上回る1111議席でした。
また、17政令市議選では前回より29議席増の136議席となりました。
北海道でも道議は1人から4人へと躍進し、「会派要件」を満たして、代表質問ができる勢力となりました。
「今後は厳しい議会となる」（道幹部）と、早くも緊張感がみなぎっていると評されています。また、政令市議選の札幌でも、5議席から8議席へと躍進し、市議会での発言力が強まると期待が広がっています。

女性議員は 第1党

日本共産党の道府県議の当選者1111名の内、女性が58人、政令市議でも60人が女性と、ともに第1党となったことは特筆すべきことです。
戦前から男女同権を主張してきた日本共産党ならではの結果となりました。

2人区3人区でも

今回は41道府県で選挙が行われましたが、261の選挙区のうち、約56%が1人区、2人区、3人区で「小選挙区制」なみの選挙制度となっています。

日本共産党はその厳しい制度の中でも奮闘し、2人区で12人、3人区で18人の当選を果たしました。
「もう、共産党しかない」という期待と信頼の表れではないでしょうか。

後半戦でも 躍進を!

前半戦では日本共産党は（地方選挙であっても）安倍政権の暴走に地方から審判を下そう
「海外で戦争する国」をつくる「戦争立法」を日本共産党の躍進でストップをかけよう。
アベノミクスに反対し、消費税、社会保障、雇用、原発、TPPなどで政策の転換を
と訴えました。
この訴えは、安倍政権の不安や怒りを強める多くの国民に共感と支持を広げました。日本共産党は、後半戦でも引き続き「日本共産党の躍進で国の悪政にストップを」と奮闘します。

網走市でも

それと同時に「住民福祉の増進」という自治体本来の原点を投げ捨てている「オール与党」政治に対抗できるのは日本共産党しかないことを訴えています。
日本共産党も支持していただいた方々も前半戦の結果に確信を持ち、更に大きな躍進を勝ち取るために奮闘を誓い合っています。

流水

「あーちゃん、ありがとう。どうぞ安らかに眠りください」悦子・フィリップモンファガ。パリより。▼この弔電は91歳になるおばのお棺の中に添えられて野辺の送りになった。▼叔母は女学生時代に朝鮮に家族で移住した。その暮らしは大変豊かだった。しかし、終戦後の日本人の逃避行はすさまじかったそうだ。顔に墨を塗り、頭の髪は切って坊主になり、胸にさらしを巻き、黒っぽい服を着て男装して、命からがら逃げた。逃げるときには腕時計をたくさん持って、ロシア兵に捕まりそうになると、時計と引き換えに逃げて来た。ようやく日本の九州に戻った時の「平和のありがたさが何よりの宝物」と口癖にしてきた。▼縁があつて網走にきた叔母に娘は子守唄を唄ってもらい、魚をたくさん食べさせてもらい育った。▼叔母は子ども達がいる佐賀県に移住していった。この一カ月の間に胆管がんが見つかり入院していたが、物が食べられなくなり、亡くなった。▼憲法9条のもとに平和な日々を送っていた叔母の思いを胸に刻んで、選挙では1票を投じたいと思っている。(て)

